

令和 3 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和3年度 幼稚園教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で特に受験番号の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

問 1 次の文は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 1 章 総則 第 1 幼稚園教育の基本」の一部である。文中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

幼児の発達は、心身の諸側面が相互に関連し合い、① 経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の② がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の③ に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。

	①	②	③
ア	多様な	発達過程	性格
イ	一定の	生活経験	性格
ウ	一定の	発達過程	特性
エ	多様な	生活経験	特性

問 2 次の①～④について、『幼稚園教育要領解説』(平成 30 年 3 月文部科学省)「第 1 章 総説 第 3 節 教育課程の役割と編成等 4 教育課程の編成上の留意事項 (3)安全上の配慮」に示された内容として、正しいものを○、正しくないものを×としたとき、組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 幼児が健康で安全な生活を送るためには、他の教師に頼ることなく、担任の教師が責任をもって安全管理を行うことが必要である。
- ② 幼児の事故は、原因は様々だが、そのときの心理的な状態と関係が深いといわれており、日々の生活の中で、教師は幼児との信頼関係を築き、個々の幼児が安定した情緒の下で行動できるようにすることが大切である。
- ③ 幼児期は、発達の特長として、友達の行動の危険性は指摘できても、自分の行動の危険性を予測できないので、教師が幼児を危険から守り、安全な生活ができるよう幼児の行動や遊びに制限をかけることが大切である。
- ④ 災害時の行動の仕方や不審者との遭遇など様々な犯罪から身を守る対処の仕方を身に付けさせるためには、幼児の発達の実情に応じて、基本的な対処の方法を確実に伝えるとともに、家庭、地域社会、関係機関などとも連携して幼児の安全を図る必要がある。

	①	②	③	④
ア	×	○	×	○
イ	○	○	×	×
ウ	○	×	×	○
エ	×	×	○	○

問 3 「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 1 章 総則 第 4 指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価 3 指導計画の作成上の留意事項」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 幼児の行う活動は、個人、グループ、学級全体などで多様に展開されるものであることを踏まえ、幼稚園全体の教師による協力体制を作りながら、一人一人の幼児が興味や欲求を十分に満足させるよう適切な援助を行うようにする。

イ 年、学期、月などの長期の指導計画については、幼児の生活リズムに配慮し、幼児の意識や興味の連続性のある活動が相互に関連して幼稚園生活の自然な流れの中に組み込まれるようにする。

ウ 幼児期は直接的な体験が重要であることを踏まえ、視聴覚教材やコンピュータなど情報機器を活用する際には、幼稚園生活では得難い体験を補完するなど、幼児の体験との関連を考慮する。

エ 言語に関する能力の発達と思考力等の発達に関連していることを踏まえ、幼稚園生活全体を通して、幼児の発達を踏まえた言語環境を整え、言語活動の充実を図る。

問 4 次の文章は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 1 章 総則 第 5 特別な配慮を必要とする幼児への指導」の一部である。文章中の ～ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

障害のある幼児などへの指導に当たっては、集団の中で生活することを通して な発達を促していくことに配慮し、特別支援学校などの助言又は援助を活用しつつ、個々の幼児の などに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。また、家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、 な視点で幼児への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、個々の幼児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。

	①	②	③
ア	個別的	障害の状態	短期的
イ	全体的	障害の状態	長期的
ウ	全体的	診断の内容	短期的
エ	個別的	診断の内容	長期的

問 5 次の①～④について、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 2 章 ねらい及び内容 人間関係 2 内容」に示された記述として正しいものを○, 正しくないものを×としたとき, 組合せとして正しいものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 日常生活の中で我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。
- ② 自分で考え, 自分で行動する。
- ③ 先生や友達と触れ合い, 安定感をもって行動する。
- ④ 自分の思ったことを相手に伝え, 相手の思っていることに気付く。

	①	②	③	④
ア	○	○	×	×
イ	×	×	○	○
ウ	○	×	×	○
エ	×	○	×	○

問 6 次の文は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 2 章 ねらい及び内容 環境 3 内容の取扱い」の一部である。文中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

身近な事象や動植物に対する ① を伝え合い, 共感し合うことなどを通して自分から関わろうとする意欲を育てるとともに, ② を通してそれらに対する親しみや畏敬の念, 生命を大切にする気持ち, ③, 探究心などが養われるようにすること。

	①	②	③
ア	感動	様々な関わり方	公共心
イ	感動	自発的な遊び	好奇心
ウ	情報	様々な関わり方	好奇心
エ	情報	自発的な遊び	公共心

問 7 『幼稚園教育要領解説』(平成 30 年 3 月文部科学省)「第 1 章 総説 第 3 節 教育課程の役割と編成等 5 小学校教育との接続に当たっての留意事項」に示されている幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図るための小学校の取組として、正しいものを○、正しくないものを×としたとき、組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① アプローチカリキュラムの編成
- ② 幼稚園教育の 5 領域を取り入れた指導
- ③ 合科的・関連的な指導
- ④ 弾力的な時間割の設定

	①	②	③	④
ア	○	×	○	×
イ	○	○	×	×
ウ	×	×	○	○
エ	×	○	×	○

問 8 次の文章は、『幼稚園教育要領解説』(平成 30 年 3 月文部科学省)「第 2 章 ねらい及び内容 第 3 節 環境の構成と保育の展開 3 留意事項」の一部である。文章中の ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教師は、幼児の生活する姿の中から ① を理解し、適切な環境を幼児の生活に沿って構成し、幼児の活動が充実するように援助することが大切である。そのためには、教師は、幼児理解とともに、幼児の身の回りの環境がもつ特性や特質について日頃から研究し、その ② について理解し、実際の指導場面で必要に応じて活用できるようにしておくことも大切である。その際には、それぞれの環境を大人の視点から捉えるのではなく、自由な発想をする幼児の視点に立って捉え、幼児がその対象との関わりを通して、どのような ③ を引き出していくのかを予想し、その可能性を幅広く捉えておくことが大切である。

	①	②	③
ア	発達の実情	園環境の実際	楽しい幼児の活動
イ	幼児の内面	園環境の実際	潜在的な学びの価値
ウ	発達の実情	教育的価値	潜在的な学びの価値
エ	幼児の内面	教育的価値	楽しい幼児の活動

問 9 次の文章は、『幼稚園教育要領解説』(平成 30 年 3 月文部科学省)「第 3 章 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項 1 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動」の一部である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動は、① を損なうものであってはならない。そのため、保護者と幼児の様子等について情報交換などを行う中で、教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動の趣旨や ② の重要性を保護者に十分に理解してもらい、保護者が、③ 幼児を育てるという意識が高まるようにすることが大切である。

	①	②	③
ア	家庭の教育力	幼稚園における教育	幼稚園の指導の下に
イ	家庭の教育力	家庭における教育	幼稚園と共に
ウ	幼児の発達	幼稚園における教育	幼稚園と共に
エ	幼児の発達	家庭における教育	幼稚園の指導の下に

問10 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年内閣府・文部科学省・厚生労働省告示第1号)「第4章 子育ての支援」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幼保連携型認定こども園は、地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育ての支援を推進するため、地域における乳幼児期の教育及び保育の中心的な役割を果たすよう努めること。
- イ 教育及び保育の活動に対する保護者の積極的な参加は、保護者の子育てを自ら実践する力の向上に寄与するだけでなく、地域社会における家庭や住民の子育てを自ら実践する力の向上及び子育ての経験の継承につながるきっかけとなる。これらのことから、保護者の参加を促すとともに、参加しやすいよう工夫すること。
- ウ 地域の実態や保護者の要請により、教育を行う標準的な時間の終了後等に希望する園児を対象に一時預かり事業などとして行う活動については、保育教諭間及び家庭との連携を密にし、園児の心身の負担に配慮すること。その際、地域の実態や保護者の事情とともに園児の生活のリズムを踏まえつつ、必要に応じて、弾力的な運用を行うこと。
- エ 保護者の生活形態が異なることから、全ての保護者の相互理解を深めることは困難であるため、保護者同士の相互理解を図ることよりも、保育教諭が保護者一人一人の子育てに対する考えを受けとめ、対応するようにすること。

問11 『幼稚園教育指導資料第5集 指導と評価に生かす記録』(平成25年7月文部科学省)に示された保育記録の意義と生かし方に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 記録を生かすためには、教師の幼児観や保育観を反映させずに記述することが重要である。
- イ 日々の保育記録は幼児理解を深め、幼児に即した指導計画を作成するための根拠である。
- ウ 園全体で保育の質の向上と改善に向けて取り組む上で、複数の教師で記録を見たり書いたりすることが重要である。
- エ 園の生活や遊びの様子を伝えるための記録は、幼児、教師、保護者の間の学びをつなぐ手段として活用できるものである。

問12 次の文は、『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』(令和3年2月文部科学省)「第1章 指導計画作成に当たっての基本的な考え方 3. 幼稚園教育における指導性 (1) 幼稚園における「指導」の意義」に示されている記述である。文中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

幼稚園教育における指導については、幼稚園生活の全体を通して幼児の発達の実情を把握して一人一人の幼児の特性や ① を捉え、幼児の行動や発見、努力、工夫、感動などを温かく受け止めて認めたり、共感したり、励ましたりして心を通わせ、幼児の生活の流れや発達などに即した具体的な ② にふさわしい環境をつくり出し、幼児の展開する活動に対して必要な助言・指示・ ③ ・共感・励ましなど、教師が行う援助の全てを総称して、指導と呼んでいます。

	①	②	③
ア	家庭環境	ねらいや内容	賞賛
イ	家庭環境	幼児の遊び	承認
ウ	発達の課題	ねらいや内容	承認
エ	発達の課題	幼児の遊び	賞賛

問13 『幼児理解に基づいた評価』(平成31年3月文部科学省)「第2章 幼児理解に基づいた評価の基本的な考え方 1. 保育における幼児理解と評価」に示されている保育を多面的に理解するための方法として適切でないものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

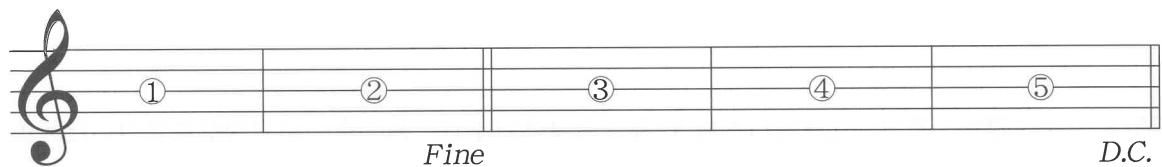
- ア 他者の意見に左右されず自身の見方を重視する
- イ 日常の中で幼児の姿について語り合う
- ウ 記録や資料を活用して見方を広げる
- エ 保育を見合う

問14 次の文章は、幼児の描画表現について説明したものである。文章中の に当てはまる語句として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

この時期の幼児の描画表現は、花や木、太陽などの記号化された表現が繰り返し見られることから、図式画と呼ばれる。また、この時期の大きな特徴として、画面の下方に と呼ばれる一本の線が描かれるようになる。 の上には家や木、花などが並べられ、画面の上方には太陽が描かれるなど、画面の中に上下の構図が表現される。

- ア 対称線
- イ 基準線
- ウ 水平線
- エ 基底線

問15 次の楽譜について、演奏する小節の順番として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア ① ② ① ② ③ ④ ⑤
- イ ① ② ③ ④ ⑤ ③ ④ ⑤
- ウ ① ② ③ ④ ⑤ ① ②
- エ ① ② ① ② ③ ④ ⑤ ① ②